

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ さんろくや		団体ウェブサイトURL
	株式会社 三六屋		
代表者職・氏名	代表取締役 阿部 洋介		
制作団体所在地	〒 123-0841	最寄り駅(バス停)	西新井大師西 駅
	東京都足立区西新井6-46-6		
電話番号	03-5691-0160		
ふりがな 公演団体名	つがるじゃみせん あべや		団体ウェブサイトURL
	津軽三味線 あべや		
代表者職・氏名	阿部金三郎		
公演団体所在地	〒 123-0841	最寄り駅(バス停)	西新井大師西 駅
	東京都足立区西新井6-46-6		
制作団体 設立年月	2010年9月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長 阿部洋介 役員 阿部人斎 役員 阿部園美	役員:3名 従業員:4名 出演者:15名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	阿部 洋介
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	阿部 園美

本応募にかかる連絡先  
(メールアドレス)

[abeYA@sanrokUYA.co.jp](mailto:abeYA@sanrokUYA.co.jp)

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p><b>株式会社 三六屋</b></p> <p>株式会社三六屋は日本の伝統芸能、郷土芸能の発展と普及に努めるべく組織されました。国内外問わずその可能性を広げ様々なアプローチでその芸術や情報を発信しています。公演活動のサポートはもちろん音楽の指導、教育にも力を入れており様々なジャンルの芸能を幅広い層に広めるべくレッスン活動も大きな規模で展開。代表をはじめ社員構成員も若き人材を有しその力と才能を結集し、従来にはない発想で現代における伝統芸能のあり方進め方を演奏者と共に意見を交えながら作り上げていくスタイルは三六屋の最大の特徴です。また独自で立ち上げたプロジェクト「HINOARHYTHM」はパンフレット、ホームページはもちろん公演全体を全て英語で行うという新感覚の公演、ワークショップを行い言葉や国を問わず楽しめる伝統芸能のグローバル化を計るプロジェクトとして精力的に公演活動を実施しています。また革新的な取り組みと合わせて、先人が培った芸能は崩さず壊さず伝統を守り継いでいき、進取と温故知新の精神で伝統芸能の新しい「時代」をつくるプロフェッショナルチームです。</p> <p>2014年 日・カリブ交流年事業公演達成 2016年18年 「HINOMARHYTHM」開催 2018年 津軽三味線・民謡団体「三乃会」と統合 2019年 高知よさこい楽曲提供 他CD出版多数</p> <p><b>津軽三味線 あべや</b></p> <p>津軽三味線全国チャンピオン 阿部金三郎・銀三郎兄弟を中心に結成された津軽三味線、民謡を中心とした日本民俗音楽芸能集団。古来より日本人が培ってきた魂の音をメンバー独自の構成で表現し、忘れかけていた日本の音の力、日本人の感性を呼び覚ます舞台を届ける。ただ音楽を聞くのではなく心躍り楽しませるといったエンターテインメント性を重視した舞台には「笑い」「感動」「躍動」様々な転結を兼ね備え、見ている人を飽きさせない。躍動溢れる津軽三味線の旋律、どこか懐かしい民謡(うた)い、尺八のもつ日本古来の威風堂々とした音艶に、華やかな踊りが舞台を染める。若さ溢れる演者の表情から一転した演奏表現は至高の作品である。2012年にはアメリカ6都市で公演ロサンゼルス、ポートランド、デンバー、ハワイ、シアトル、サンフランシスコ、UCLA(カルフォルニア大学ロサンゼルス校)とハワイ大学にて津軽三味線民謡ワークショップ開催。2013年イギリス公演、2014年中南米ツアー(ジャマイカ、ハイチ、ベリーズ)と、近年活躍の場を海外へも広げている。世界数10カ国の公演を通して感じてきた日本の音の力を確信した、あべや独自の思想論「HINOMARHYTHM」は日本人が育んだ音の響きを世界中に届けるということを基礎に、世界を震撼させることで日本人が本当の「日本の力」を再認識するというプログラムでありそれを掲げる。若き才能がぶつかりあう魂の舞台を、日本・世界のステージで展開している。</p> <p><b>【主な受賞歴】</b> 阿部金三郎…平成17年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 阿部銀三郎…平成22年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ～兄弟そろって優勝の称号を手に入れているのは、あべや兄弟が史上初～</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成23年度： 20公演 平成24年度： 20公演 平成25年度： 25公演 平成26年度： 78公演(内文化芸術による子供の育成事業は16公演) 平成27年1月20日 島根県立出雲養護学校で派遣事業を実施。 平成27年度： 81公演(内文化芸術による子供の育成事業は17公演) 平成27年11月27日 宮崎県都城市立石山小学校で派遣事業を実施。 平成28年度： 65公演 平成29年度： 64公演(内文化芸術による子供の育成事業は20公演) 平成30年度： 68公演 令和元年度： 72公演 令和2年度： 82公演が予定されていたが、コロナ禍により12公演実施。文化芸術による子供育成総合事業(当初公演)： 30公演 令和3年度：87公演(内文化芸術による子供の育成総合事業は29公演) 令和4年度：82公演(内文化芸術による子供の育成推進事業は9公演) 令和5年度：85公演(内舞台芸術等総合支援事業は9公演) 令和6年度：70公演(内舞台芸術等総合支援事業は8公演)</p>

特別支援学校等における公演実績	平成26年度 文化芸術による子どもの育成事業 派遣事業 島根県立出雲養護学校	
	平成27年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 宮崎県立清武せいりゅう支援学校 事前に学校の先生と連絡を密に取り合うことはもちろん、せいりゅう支援学校さんでは過去に経験のない生徒さん参加演目(白狐の嫁入りなど)のリハーサルを行いました。車椅子などに寝たきりの生徒さんが多くいらしたので、体験で生徒さんが前に出る際の動線を事前に確認しました。また楽器体験の際も撥で怪我をしないよう、弊社スタッフのみでなく担当の先生の補助を頂きながら、三味線や太鼓の音色を味わって頂きました。	
	平成29年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 滋賀県鳥居本養護学校 小学部から高学部まで年齢層が幅広い参加でした。特に小学部の児童さんが大きな音に驚く可能性があることを、ワークショップ時、担当の先生に確認をしていました。本公演では、通常より早めに舞台設営を開始し、あべやメンバーもいつもより早めに会場入り。担当の先生他、小学部の先生方にも体育館でのサウンドチェックに立ち会ってもらい、トラブルが生じないレベル調整を、音響エンジニアと舞台監督で綿密に行いました。結果、演出効果を損なうことなく、公演後は、児童・生徒さんまた先生方も、存分に楽しめたという評価を頂戴しました。	
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8">https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8</a>
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 津軽三味線 あべや】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	津軽三味線・民俗芸能 邦楽ユニットLIVE！
-----	------------------------

企画のねらい	<p>“すぐそこにある、日本の音”</p> <p>いま大人を含め、“日本の音・邦楽”に触れる機会ほとんど無いのではないのでしょうか。子どもたちに関してはなおさらです。しかし、何の知識がなくても“日本の音”をひとたび耳にすれば、思わずからだ動き出し、みんなで一緒に唄い出したくなる—それが日本の民謡です。そんな民謡にまずは親しみ、楽しむ。そして民謡が、実は単なる音楽以上の魅力・底力をもっていることを知ってほしいのです。</p> <p>実際に民謡というのは、我々のすぐ近くにあります。日本の民謡は何万曲、何十万曲もあると言われているように、ご覧頂く児童・生徒さんの地域にもきっと民謡はあります。そこで描かれているのは、地域の気候・風土の中で育まれてきた生活、“人々の営みの景色”です。季節を通して行われる長い労働の中で自らを鼓舞する掛け声や、子どもをあやす時の子守歌、営みの中で自然に生まれた声や歌がそのまま音楽になったものが日本の民謡なのです。これらを聴く前と後では、いつも見慣れた風景や地域へのまなざしも、きっと変わっていることでしょう。</p> <p>この企画では、児童・生徒さんがイメージしやすい日本の音の代表格・津軽三味線を中心に、我々のすぐ近くにある日本の音、民謡の世界をご紹介します。このプログラムが、子どもたちにとってまたとない“日本の音楽への入り口”になればと願っています。</p>
--------	---

演目概要・演目選択理由	<p>(別添①とあわせてご覧ください)</p> <p>日本の音を知る × 地域を知る 津軽三味線・和楽器 × 民謡大調査 民謡・踊り × 校歌</p> <p><b>音と地域①【津軽三味線は何で“津軽”？】</b> 津軽三味線の魅力はなんといってもその迫力の音。“日本の音”に親しみのない児童・生徒さん達でも、きっと気負いなく楽しんで頂けると思います。また、単なる楽器・音楽として紹介するのではなく、津軽三味線をとっかかりに、“日本の音・民謡”が地域に根差して形づくられ、発展してきたことをクローズアップします。 WS:津軽三味線ってなあに？ 本公演:津軽じょんがら節</p> <p><b>音と地域②【南ではハイヤ！北ではアイヤ！】</b> 熊本県民謡の「牛深ハイヤ節」は、北前船の船員たちによって、日本各地の港町で口から耳、耳から口といった風に各地に伝わっていきました。その曲調や節回しは、それぞれの地域・風土ごとに、少しずつ形を変えてうまれたのが、新潟の「佐渡おけさ」、青森の「津軽アイヤ節」なのです。また、全国的な広がりだけでなく、人々の営みの景色を描いた民謡、営みと共に山を越え、川を渡り…という中で、じわじわと人々の心と共に広がっていったことでしょう。それが、民謡は我々のすぐ近くにあり、何万曲も、何十万曲もあるといわれる所以です。その様子を、実際の演奏をはじめとして、プロジェクター上映や、みんなで身体を使った合いの手・ソーラン節を通して、多角的に楽しんで頂きます。 WS:民謡ってなあに？(プロジェクター上映) 本公演:牛深ハイヤ節/みんなでソーラン！</p> <p><b>音と地域③【僕たち私たちの近くにも民謡が!?!】</b> 「津軽じょんがら節」や「牛深ハイヤ節」は、日本を代表する民謡ですが、日本には他にも数えきれないほど多くの民謡があり、実際、どの地域にも必ず一つは民謡があることでしょう。それを体感できる、フィールドワーク的な試みをご用意しています。 WS:あなたの街の民謡大調査 本公演:民謡で旅をしよう！(民謡Mドレー)</p>
-------------	--

<p>児童・生徒の参加又は体験の形態</p>	<p>◎「みんなでソーラン！」 ワークショップで全員の児童・生徒さんに三味線・太鼓を触って、音出しを体験していただくのと合わせて、ソーラン節の踊りも体験。 本公演では、代表を選出(三味線10名・太鼓5名)していただき、本公演プログラムの一番の集大成「みんなでソーラン！」で、出演者と一緒に、日本の代表的な民謡であるソーラン節を大合奏していただきます。 ソーラン節は、かつて北海道の経済を大いに支えたニシン漁の荒々しくもにぎやかな様を描いた民謡です。その情景をリアルに体現するために、各校にオリジナル大漁旗をご用意、これも代表者に元気よく振っていただき、フロアではからだ全体でソーラン節を踊る、まさしく”みんなで”つくる全員参加の場面です。</p> <p>◎校歌演奏 本プログラムでは、日本の音や民謡、およびそこに描かれた風景が”すぐそこにある”ことを知ってもらうことを主眼としていますが、児童・生徒さんにとってそのような曲の代表格は学校の校歌ではないでしょうか。 実際に、校歌には地元の風景や古くから地域に根差した風土などの特色が必ず描かれている、一番身近なものです。 本公演では、事前に校歌の音源や歌詞を頂き、当日サプライズ演奏します。 また伴奏をピアノで学校代表の児童・生徒さん、先生にお願いすることで、またとない体験の機会となるだけでなく、和と洋のコラボ、音楽の奥深さをお楽しみ頂けます。</p> <p>○合いの手参加 民謡で欠かすことのできない”合いの手”。本公演では、牛深ハイヤ節をはじめとした各地の代表的な民謡をご紹介します。 聴く前は「ちょっと恥ずかしいかも」なんて心配していたことも忘れ、自然と体が動き出すことでしょう。 まさに「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々！」</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>本公演</p>	<p>参加・体験人数目安</p>	<p>700人 程度まで</p>
		<p>鑑賞人数目安</p>	<p>700人 程度まで</p>
<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>(別添②:公演プログラムの流れ・イメージにご参照ください)</p> <p><b>津軽三味線・民俗芸能 邦楽ユニットLIVE!</b></p> <p>一、白狐の嫁入り …黒澤明監督の映画「夢」の1シーン「狐の嫁入り」をモチーフに、幻想的な雰囲気演出 二、妖気太鼓 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 三、「青くとも紅く」 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 四、「嵐」 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 五、津軽三味線曲弾き対決 …三味線創始の頃の野外での即興的演奏を、兄弟ならではの対決風にアレンジ 六、関東一番太鼓 …江戸助六太鼓の流れを汲む、情緒あふれた粋な太鼓演奏 七、体験 太鼓教室 八、民謡で旅をしよう! …北前船と一緒に旅をするように、各地の民謡をメドレー形式でご紹介 九、体験 牛深ハイヤ節 …民謡に不可欠な”合いの手”で参加できる、日本の民謡の”原点”ともいうべき曲 十、「安来節〜どじょう堀い〜」 …単体での全国大会が開かれるほど言わずと知れた島根県を代表する民俗芸能 十一、江戸寿獅子舞 …各地域の特色ある獅子舞があるなか、舞を見るだけでご利益がある江戸獅子舞を披露 十二、体験 みんなでソーラン! …誰もが知っている民謡で、三味線・太鼓・唄・踊りに分かれ一体となった全員参加 十三、校歌演奏 十四、津軽じょんがら節 …津軽三つ物(じょんがら節・よされ節・おはら節)に数えられる青森県を代表する民謡 十五、アンコール 銭太鼓 …銭(硬貨)がこすれ合う音を利用した楽器で、中の銭の12枚などの枚数にも意味を持つ</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
<p>出演者</p>	<p>◆阿部金三郎(兄)／平成17年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆阿部銀三郎(弟)／平成22年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆根本麻耶／平成12年 郷土民謡協会全国大会ハイライト優勝 ◆安藤龍正／部門別で競われる安来節全国大会で全部門優勝 ◆佐藤公基／平成12年 少年少女民謡大会において優勝 ◆若獅子太鼓・三宅治／第15回伝統音楽公演 日本の太鼓、伝統と創造において大太鼓一人打ち競技大会優秀賞受賞 他</p> <p>※阿部金三郎、阿部銀三郎以外の出演者は、日程により変更の可能性がございます。</p>		
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>全国津軽三味線コンクール(若手のチャンピオンを決める大会)で、阿部金三郎・銀三郎兄弟は別年度でそれぞれ優勝の称号を手に入れている。なお、兄弟で優勝の称号を手にしたのは、このあべや兄弟だけである。 津軽三味線の名手・阿部秀三郎を父に持ち、幼少の頃より津軽三味線の英才教育を受け育つ。 いまや津軽三味線の世界のトップランナーとなり、世界水泳2023福岡大会では会場内の選手入場曲等に演奏で参加するなど多方面で活躍している。</p>		

<b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</b>	出演者: 7 名	<b>運搬</b>	積載量: 1 t
	スタッフ: 4 名		車長: 5.3 m
	合計: 11 名		台数: 2 台

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時45分	9時00分～12時30分	13時30分～15時00分		15時00分～17時00分	17時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。					

<b>本公演 実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月
	4日	17日	10日	18日
	10月	11月	12月	1月
	5日	14日	21日	20日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計



上：本公演の集大成「みんなでソーラン！」のコラボ合奏の様子／下：本公演では実際に触れる体験・展示も充実

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

## 体験・展示ブース

**開演前から、  
終演後の余韻まで・7口の演奏を  
聴いた興奮後も自由にとろろ！**

三線・細棹三味線・津軽三味線を展示します。またワークショップで体験した銭太鼓やささらなどをご準備しますので、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧いただき、自由に触って、音を出してもらいます。

**本公演で使用している  
楽器などの展示。  
自由に触れて体験できます。**

**【楽器+“地元フーズ”を設置】**  
地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背景などを展示します。また各校と相談の上、子供たちに伝え残したい物を展示。  
【漁網でも農機具でも、何でもいいです】

▲地域の方と共に地元の民謡や物産等を展示することで地元の風土を理解。  
▲三味線のルーツを学べるコーナーです、ワークショップのおさらいに！

<b>著作権、上演権利等の 許諾状況</b>	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

ワークショップのねらい	<p>古臭いと思われがちな邦楽の世界へ”はじめの一步”をふみ出すために。</p> <p>邦楽の入り口として、津軽三味線や民謡というのは、子どもたちの”はじめて”にふさわしいものです。実際我々のすぐ近くにあり、自然とからだ動き出してしまふほどの楽しさをもったものですが、子どもたちにとっては、なかなか馴染みがないのも事実です。</p> <p>本プログラムではプロジェクターを活用しながら、あべや兄弟の楽しいトークと、クイズや実演、また児童・生徒さんの体験を交えながら、津軽三味線と民謡に親しんでもらいます。</p> <p>また、本来”日本の音”や民謡が持つ楽しさに触れるだけでなく、これらがどのように地域の気候・風土から生まれ、人々の生活に根付いていったのかにスポットをあてて紹介します。</p> <p>単なる楽器・音楽という枠を飛び越えて、日本の音の奥深さに触れるファーストステップになります。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	700人程度まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p>(別添③:公演プログラムの流れ・イメージにご参照ください) 叩こう! 弾こう! 唄おう! 踊ろう! ~さわって体験! はあ~どっこい! ~</p> <p><b>パートⅠ 津軽三味線</b> 一、津軽三味線の音色を楽しむ まず一曲、ご挨拶。津軽三味線の迫力ある世界へようこそ 二、津軽三味線ってなあに? 《プロジェクター》 ○津軽三味線を知る(解説/鑑賞) 児童・生徒さんにとって、津軽三味線は数多くある楽器の一つにすぎないでしょう。しかし、津軽三味線がうまれるまでには意外な物語がありました。また、同じ三味線兄弟である沖縄の三線や、大阪の細棹三味線。しかし弾いてみると…その音色の違いにびっくり。このような音色の違いは、どこからくるの? (沖縄三線「蛇」/大阪 三味線(細棹)「猫」/津軽 青森 津軽三味線(太棹)「犬」) 三、リクエスト演奏コーナー その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。三味線にはドレミがなく、洋楽器と音階が異なるため、現代曲を弾くのは、実は難しいことです</p> <p><b>パートⅡ 民謡</b> 四、民謡ってなあに? 《プロジェクター》 ○民謡の解説 全国津々浦々にある民謡を、プロジェクターに日本地図を投影しながらご紹介 ○民謡は旅をする?! 全国を巡る「北前船」を介しそれぞれの生活の中に定着し、その地域毎の変化を遂げた民謡。牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節など実際に演奏して同じ曲である民謡がどのように地域によってアレンジされたのか、プロジェクターを用いながら明快に解説します。民謡が地域風土により変化することを深く知ることができます。 ○民謡クイズ! あべやが唄う民謡を聴いて、日常のどんな場面を表現した民謡かな? プロジェクターを使いクイズ形式で民謡を楽しみます。</p> <p><b>五、地元を発見!! あなたの街の民謡大調査!</b> どんな地域、誰の身近にも必ずある民謡。それを体感してもらうために、まず児童・生徒さんには、地元の誰もが知る風景や名物、町ならではのものを考えてきてもらいます。ワークショップ当日に初めて児童・生徒さんにお会いするまでに、あべや兄弟も皆さんの地域の民謡をリサーチしてきます。 皆さんが考えた”地域ならではのもの”と、あべやが見つめてきた皆さんの”地域の民謡”、どんな風景が描かれ唄われているのか、答え合わせをしましょう。</p>		

	<p><b>パートⅢ 体験コーナー</b></p> <p><b>六、どうやって“音”は鳴る？～民謡楽器4兄弟～</b>      実際に民謡で使われる代表的な楽器、津軽三味線・笛・太鼓、当り鉦などをご紹介します。よく見てください、同じ楽器でも、弾く・吹く・叩く・打ち鳴らすと、鳴らし方がそれぞれ違います。人々の暮らし・生活と直結し魂をゆさぶる“民謡”と一緒に発展してきたこれらの楽器を”民謡楽器4兄弟”と名付けて、素朴でありながら、個性的な民謡の世界を実感。</p> <p><b>七、音を鳴らしてみよう！</b>      それでは、いよいよお待ちかね！津軽三味線をはじめとした”民謡楽器4兄弟”を、実際に触って鳴らしてみましよう！      これらの楽器は、どれも地域の気候・風土、また人々の生活の中で生まれた楽器たちです。実際に手に取って鳴らしてみることで、その楽器がどんな情景を表すために生まれたものなのか、思い浮かべてみましょう。</p> <p><b>パートⅣ 本公演に向けて</b></p> <p><b>八、みんなでソーラン！～お稽古～</b>      一度は聴いたことのあるソーラン節。      その特徴的な振付けや節回しは、北海道の昔ながらのニシン漁のしぐさをそのまま表しています。ワークショップの「お稽古編」では、基本の踊り方と「合の手（掛け声と手拍子）」を練習します。これが本公演で、どう変化するのは…本公演のお楽しみですよ！      （ちなみに本公演では…）      ワークショップでお稽古したソーラン節を、あべや兄弟はじめとした出演者たちと大合奏！</p>
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>ワークショップ→本公演という流れを意識した構成プログラムとなっているため、学校様都合等によっては、午前中にワークショップ・午後に本公演など、臨機応変な実施形態での開催が可能です。</p>

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 津軽三味線 あべや】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>今までのワークショップ・本公演に、さらに磨きをかけて</p> <p>平成26・27・29年度の巡回公演事業で、中国地方・南九州地方・近畿地方の小中学校で公演を続けてきました。また令和2年度以降のコロナ禍においても、安全な参加型演目への変更や公演時間の調整を行い、2020年コロナ禍以降の5年間で総計50校以上の学校さんの公演を完了しました。どちらでも、「普段なかなか触れることの出来ない津軽三味線・邦楽を生で聴き、さらに日本の民謡音楽を形作ってきた楽器や踊りを“体験”出来て、大変に良かった」というお声を、多数頂戴しました。実際に公演を行う立場として、どのような人数規模であっても、より多くの子どもたちに、より良いかたちで“実体験”を提供できたいだろうか、常に出演者とスタッフで意見を交わしています。</p> <p>我々は「津軽三味線あべや」が届ける日本の音楽・パフォーマンスに、何より自信と誇りを持っているからこそ、多くの子ども達にとって素晴らしい音楽に触れる機会になってほしいと、毎年、また公演毎に修正や工夫を加えています。</p> <p><u>これまでの公演ノウハウを十二分に活かす主体性・能動性を育てるプログラム</u></p> <p>○まずは和楽器に触って音を出す。その重さと音色を体感！ 三味線・民謡に触れる機会は普段の生活の中であるでしょうか。現在の学校教育でも洋楽器の楽器演奏・体験は充実している反面、和楽器の普及が進まないのが現実です。本事業を通して、和楽器に直に触れてその楽しさを体験してもらいます。</p> <p>○楽しく参加する民謡の合いの手、皆で唄い踊るソーラン節。 声を出して唄うのは抵抗がある。恥ずかしいな・・・という生徒さんも一緒に楽しめる民謡の合いの手やソーラン節。本来民謡は、気が付くと手拍子をしている、日本人のDNAを呼び覚ますソウルミュージックです。リズムを感じて動くことによってタイミングや間合いを、児童・生徒さんそれぞれが体に吸収します。また何より日本の音が楽しいという感性を育てるきっかけづくりになります。初めてだけど何故か懐かしい・・・感覚が呼び覚まされます。</p> <p>○日本の音はいつでも日本人の生活の中に生きている。 民謡、和楽器は日本の風土、日本人の心に根付いています。また日本の音は力強さ、胸を打つ響きがあります。ワークショップから本公演を通して、演奏を聴くだけでなく、本物の和楽器を演奏する、一緒に唄うことで、音を出す難しさや重さや肌触りを体験、また民謡を唄える喜びが生まれます。現代はTVやネットの情報ばかりが先に進みますが、そんな時代だからこそ、実際に演奏し唄う機会は貴重な体験となります。</p> <p>○地元の良さを再発見する！ 改善点 本公演までに担当の先生に演奏してほしい“地元の民謡”のピックアップ依頼 →WSまでに子どもたちに“地元の民謡”を調べてきてもらう に変更 本事業の主役である子どもたちが、より主体的に入り込んで民謡に親しめるようにとの思いから、令和6年度からはこのような変更点を加えました。 普段何気なく見ていた山や川などの風景、特産品は、古くから地元の人の心に根差した心象風景であることを知るだけでなく、「“民謡”ってなあに？」という子どもたちの問いは、家族や近隣の人達との会話を生むことでしょう。是非当日は、保護者や地元の方々にもご鑑賞していただき、地元の民謡を通して、活発な交流につながるものになればと考えております。</p> <p>○校歌から知る周りの風景や、学校の良さ 何気なく歌っている校歌。でもその歌詞に込められた意味を知って歌っている子は、どれぐらいの割合でしょうか。ワークショップでは、あべやメンバーが事前にピックアップした地名や理念・言葉などを本公演までの宿題として投げかけます。そして本公演において発表してもらい、校歌の理解を深めた上で、和楽器とピアノ(代表の児童・生徒さんまたは先生の演奏)のコラボで、その学校にしかない校歌合唱を繰り広げます</p>

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

### 日本の音は古くない！新鮮で楽しい！楽器体験・メリハリのある番組構成で演出

○「あべや」でしかできないプログラム構成。

サプライズ登場から始まり、お腹に響く太鼓演奏、かっこいい津軽三味線競演、堂々たる尺八、滑稽なドジョウ掬い、みんなで唄う民謡、それらを繋ぐ軽快なMCなどなど。開演からフィナーレまで、隙間なく飽きることのないプログラムを構成します。

○学ぶだけでなく楽しみながら体験をし、日本の音を知る。

ワークショップは音楽教室でなく、あくまでも体験重視とし、その楽しさからルーツや秘められた意味などを知ってもらいます。民謡が様々な地域を渡り、全国に伝わった経緯や、三味線が沖縄・堺・津軽でどのように違いがあるのか。クイズや実物を見て、鮮やかに記憶に残します。

○体育館を迫力あるエンターテインメント空間に変える。

ただ和楽器をステージに配置するだけでなく、垂れ幕や飾り幕などの舞台道具を設営して、ステージをより華やかに彩ります。それに各楽器の音色を最大限に引き出す音響設営を施し、曲調により変化するステージ照明、客席でのパフォーマンスを際立てせる客席照明効果を加えて、全体として体育館に“日本の音ライブ”の異空間を創造します。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

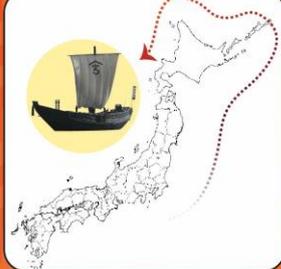
【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

別添①

全国をめぐる北前船と共に、各地で発展してきた民謡とその楽器



WS「民謡は旅をする?」より

民謡は、人々の生活・暮らしを唄い、地域に根差している



ア. だいろやーだいろだいろ  
角出せだいろ  
角を出さぬと曾根の  
代官所に申し上げるが  
いかだいろ  
① 平 ② かたつり ③ 美さん ④ カブトムシ  
A. ② かたつり / ③ 美さん (新潟民謡)

WS「民謡クイズ」より

すぐそこにある、日本の音



カッコいい演奏

迫力の音



どこまでも届く唄声



さまざまな演出



体験・展示ブース

演目概要・演目選択理由



あべ兄弟  
〈津軽三味線〉

安来節  
〈とじょうすくい〉

和太鼓

唄〈民謡〉

尺八

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 津軽三味線 あべや】

**別添② 本公演・プログラム 公演時間：90分**

**とことん楽しむ!日本の音**  
**津軽三味線・民俗芸能邦楽ユニットLIVE!**



客席から登場し、瞬く間に幻想の世界へ  
 雰囲気そのままに、太鼓の音が疾しく力強く鳴り響く

**一、白狐の嫁入り**  
 「狐の嫁入り」をモチーフに、狐の面をつけた一行が幻想的に表れ、邦楽の世界に誘います。

**二、妖気太鼓**

**三、青くとも紅く 四、嵐** **本格的な邦楽公演スタート!**  
 いよいよ津軽三味線が登場!  
 体を突き抜けるハイテンポな音色と響き渡る尺八にも注目!

**五、津軽三味線曲弾き対決**  
 史上初・どろっての全国優勝兄弟による、津軽三味線の超絶技巧バトル!

**六、「関東一番太鼓」**  
 荒々しい和太鼓の中に江戸の粋な小孩を組み込んだ、まさに魅せる太鼓演奏です。

**七、体験 太鼓体験教室**  
 挑戦する生徒さんには簡単～複雑なリズムを、学年でレベルをわけ叩いてもらいます。

**八、民謡で旅をしよう!**  
 みんなで一緒に北前船に乗った気分で、各地の民謡をめぐってみましょう!

**九、体験 牛深ハイヤ節(熊本県民謡)**  
 民謡に不可欠!!  
 低学年・高学年・先生チームに分かれての合いの手合戦!

**十、「安来節〜どじょう掘い〜」**  
 (島根県民謡)  
 飛び出すように現れた  
 踊り手は、何の様子を表しているでしょう?

**十一、江戸寿獅子舞**  
 頭をかじられたらラッキー!  
 その顔を見るだけでもご利益があります

**十二、体験 みんなでソーラン!**  
 あべやと一緒に、みんなで参加!  
 津軽三味線10名、水鼓5名、唄囃子(合いの手)踊り、手拍子、全校生徒で、「ソーラン節」を演奏します。

**十三、「校歌演奏」**  
 あべやからサプライズ!!  
 地元の名産や景色などがうたわれている校歌を民謡風アレンジしてサプライズプレゼント!

**十四、津軽じょんがら節**  
 邦楽公演の締めくくりとして、ふさわしい曲を奏者全員で心をこめてお届けします。

**十五、「アンコール」銭太鼓**  
 邦楽の世界、どうでしたか?最後に皆さんのこれからの幸せを祈って、おめでたく華やかにエンディングを飾ります。

本公演演出  
 原作/作曲  
 脚本  
 演出/振付

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.3 【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

別添③ ワークショップ・プログラム 公演時間:90分

弾き三味線 唄お三味線  
 プロジェクターと楽しいお話で進行します!!  
**さわって体験! はあ〜どっこい!**

パートⅠ 津軽三味線

一、津軽三味線の音色を楽しむ まずは一曲、ご挨拶!

○津軽三味線の演奏

～津軽三味線の迫力ある音と、あべや兄弟の軽妙なトーク!日本の音を楽しもう!～



二、津軽三味線ってなあに?

プロジェクター上映

○津軽三味線を知る(解説)

○三味線の弾き比べ!聞き比べ!  
(三線(さんしん)・細棒三味線・津軽三味線)

○津軽三味線、実は組み立てて使用する楽器



三、リクエスト演奏コーナー

ドレミがない三味線で現代曲を弾くのは...実は難しい!?



パートⅡ 民謡

四、民謡ってなあに? プロジェクター上映

○民謡の解説

○民謡は旅をする?!  
(北前船は物だけでなく、唄も運んだ!!)

○民謡クイズ



ア、だいるやーだいるだいる  
 角出せだいる  
 角を出せぬと蟹の  
 角を蟹に押し上げるが  
 いかだいる  
○岸 津軽三味線 津軽三味線  
 ○岸 津軽三味線 津軽三味線  
 ○岸 津軽三味線 津軽三味線



五、あなたの街の民謡大調査!

地元を発見!!



パートⅢ 体験ひろば

六、どうやって“音”は鳴る?～民謡楽器4兄弟～



七、音を鳴らしてみよう!



パートⅣ 本公演に向けて

八、みんなでソーラン!



\*は合いの手

ドッコイショ ア ドッコイショ ドッコイショ

ワークショップ  
 実施形態及び内容